

学習指導要領		墨田川高校 学カスタンダード
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>幅広く調べた内容を検討して自分の考えをもち、客観的な根拠に基づいて論理的に話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会問題などについて、調べたり取材したりした内容を様々な角度から検討して、自分の考えをもつことができる。 ・多角的な視点から、論拠に基づいて自分の考えを話すことができる。 ・事実と意見とを区別する場面で共同的な学習を通じて自分の考えをまとめることができる。 ・相手を意識して分かりやすく話すことができる。 <p>目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉遣いで話したり、要点を押さえて聞き取ったりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告や発表などで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、必要に応じて資料などを使いながら言葉を選んで話すことができる。 <p>相手の立場を理解し、相手の考えを生かしながら自分の考えを説明し、司会者や提案者などの役割に応じて円滑に話し合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループやクラスの討議などで、相手と自分の考えの共通点や相違点を整理し、相手の示す根拠の適否などを確かめるために適切に質問することができる。 ・司会者や提案者などの役割に応じて、話し合いが効果的に展開するように、話の構成や展開、言葉遣いなどを工夫して話すことができる。 ・相手の立場や考えを尊重して話し合うことができる。 ・語彙を適切に用いることができる。 <p>自己評価や相互評価を自分の話し方や言葉遣いに生かし、話し手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付き、自身の考えを広げ、深めることができる。</p> <p>相手や目的、場に応じた言葉遣い、態度、論の構成・展開の仕方など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘し、それぞれに込められた思いや考えに気付くことができる。</p>

学習指導要領		墨田川高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	<p>誰に向かって何のために書くのかを考え、自らその目的に応じた題材や文章の形態を選び、それにふさわしい文体、語句を工夫して書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の体験や考えたこと、身の回りのことなどから目的に応じて題材を選び、材料を収集したり選択したりすることができる。 ・常体と敬体を相手や目的に応じ、効果を考えて使い分けることができる。 ・文章の形態や文体を考え、語句や言い回しを工夫して書くことができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	<p>論理や構成の展開の仕方について理解し、論拠に基づいて自分の考えを文章にすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論拠に基づいて、反論を想定しながら、自分の考えをまとめることができる。 ・事実や事柄を客観的に表現することができる。 ・文や文章の組み立てに注意して書くことができる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	<p>説明や描写を効果的に使い分けるなど、相手や目的、場に応じた適切な表現の仕方を考えて書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的かつ的確に説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、表現技法などを用いて、読み手がイメージしやすいように書き表すことができる。
	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	<p>自他の文章への評価を通して、自分の表現に生かし、書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発想の豊かさや論の構成・展開の仕方など、良い点・直すべき点を指摘することができる。 ・優れた文章を分析、吟味して自分の表現に取り入れることができる。

学習指導要領		墨田川高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	<p>文章のそれぞれの形態における表現技法や語句の使い方の工夫などに注意し、その効果を考えながら読むことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩法を理解し、文章中の比喩とその効果について説明することができる。 ・ 文章中のキーワードを指摘し、文章の大筋やテーマを考えながら読むことができる。 ・ 小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱・朗読などを通して味わうことができる。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	<p>文脈をとらえ、語句や表現に注意しながら、筆者の考えなどを的確に読み取り、指定された条件に従って要約したり、詳しく説明・解説したりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で説明することができる。 ・ 指示語や接続詞に着目して論の展開をとらえることができる。 ・ 筆者の主張を抜き出して整理し、分かりやすく並べ直したり、指定された条件に従って要約したりすることができる。
	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	<p>登場人物の行動や心情の変化、ものの見方、感じ方、考え方などを的確にとらえ、人物相互の関係の変容を読み取ることができる。</p> <p>情景描写から心情や物事の起こる予兆などを読み取ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の言動・心情の変化やその過程を読み取り、それらについて説明することができる。 ・ 比喩表現などから状況や心情をとらえ、その移り変わりを説明することができる。
	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。	<p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について、その効果を指摘したり、書き手の主張や目的をとらえたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てを指摘したりすることができる。

学習指導要領		墨田川高校 学カスタンダード
<p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋をとらえて説明することができる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比、比喩などの表現技法を説明することができる。 ・書き手の主張や意図を読み取ることができる。 <p>様々な形態・内容・分野の書籍や文章を読み、そこから得た情報を評価し、目的に応じて活用したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な形態や幅広い内容・分野の書籍や文章を書店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。 ・読んだ書籍や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて適切に加工しながら活用することができる。 ・読んだ書籍や文章を評価することを通して、文章に表れた書き手の多様な思いや考えに触れ、その意義や価値に気付くことができる。
<p>伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p>	<p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解 (イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<p>語句、語彙の構造的な仕組みとしての成り立ちについて理解し、また、他の言語との比較から明らかになる表現の特色や、社会における言語の役割について認識し、活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成上の様々な関係について説明することができる。 ・和語・漢語・外来語の区別やそれぞれの語感の違い、具体的な使い方などを理解し、使い分けることができる。 ・言語の主要な機能を理解し、それが社会的、歴史的に様々な領域で実現されていることを理解する。 <p>文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて主要な事柄を知り、活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難易度が中程度の文章の段落構成を理解し、また、それを意識して文章を書くことができる。 ・難易度が中程度の文章について、語句の意味・用法を理解し、また、適切に用いることができる。

学習指導要領	墨田川高校 学カスタンダード
<p>ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>	<p>・説明的文章に使用される語句のうち主要なものの意味を理解する。</p> <p>常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字を含む1600字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。</p>